

議会改革推進委員会からの答申内容について

八戸市議会では、令和元年6月24日に議会改革推進委員会を設置し、議会改革について検討することとしており、議員定数の見直しについて、以下のとおり答申がありました。

○ 議員定数の見直しについて

議員定数の見直しについて、行財政改革の視点、類似都市との比較、更には、市政の将来の予測や展望に十分に考慮し協議を進め、次の四つの意見に集約されたところであります。

意見	議員定数を4人削減し、28人とする。
会派等	自由民主・市民クラブ、公明党、無所属議員
主な理由	人口20万以上30万人未満の市の議員1人当たりの市民の数8,125人を基に八戸市の人口に当てはめると、議員定数は28.3人と算定されるため。 既に、削減を実施している青森市など他都市との均衡も考慮する。
意見	議員定数を2人削減し、30人とする。
会派等	きずなクラブ
主な理由	人口20万以上30万人未満の市の平均議員定数は30.5人と算定されるため。 人口減少問題など地域の課題に取り組む上で、適正な議員数の確保は必要と考える。
意見	議員定数は、徐々に削減すべき。
会派等	新緑・無所属の会
主な理由	多様な住民の意見を議会に反映する上で、適正な議員数の確保は必要であり、議員定数については、慎重に議論し、徐々に削減すべきと考える。
意見	議員定数を削減せず、32人とする。
会派等	日本共産党議員団
主な理由	地域の多様な住民の声を市政に反映して議会運営を行う上で、32人の定数は必要であり、現時点で、議員定数を削減する必要はないと考える。